

(別紙様式1)

## 平成29年度の目標及びその達成に向けた活動計画

都道府県名： 青森県  
農業委員会名： 五所川原市

### I 農業委員会の状況(平成29年4月1日現在)

#### 1 農家・農地等の概要

	農家数(戸)
総農家数	2,385
自給的農家数	422
販売農家数	1,963
主業農家数	795
準主業農家数	345
副業的農家数	823

※ 農林業センサスに基づいて記入。

	農業者数(人)
農業就業者数	3,642
女性	1,729
40代以下	530

※ 農林業センサスに基づいて記入。

	経営数(経営)
認定農業者	840
基本構想水準到達者	22
認定新規就農者	27
農業参入法人	27
集落営農経営	2
特定農業団体	
集落営農組織	2

※農業委員会調べ

単位:ha

	田	畑	普通畑			樹園地	牧草畑	計
			普通畑	樹園地	牧草畑			
耕地面積	7,300	2,030					9,330	
経営耕地面積	6,511	948	232	614	102		7,459	
遊休農地面積	9.2	19.9	17.0	2.9			29.1	
農地台帳面積	7,386	2,207	1,439	701	67		9,593	

※1 耕地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入

※2 経営耕地面積は、農林業センサスに基づいて記入

※3 遊休農地面積は、農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した第32条第1項第1号又は第2号のいずれかに該当する農地の総面積を記入

#### 2 農業委員会の現在の体制

旧制度に基づく農業委員会

任期満了年月日 H 3 0 年 3 月 2 7 日

	選挙委員		選任委員				計	合計
	定数	実数	農協推薦	共済推薦	土地改良推薦	議会推薦		
農業委員数	30	30	2	1	1	4	8	38
認定農業者	—	23	1	1	1	3	6	29
女性	—	2						2
40代以下	—	5				1	1	6

新制度に基づく農業委員会

任期満了年月日 H 年 月 日

	農業委員	
	定数	実数
農業委員数		
認定農業者	—	
認定農業者に準ずる者	—	
女性	—	
40代以下	—	
中立委員	—	

	定数	実数	地区数
農地利用最適化推進委員			

\*現在の体制を記載することとし、旧・新しいいずれかの記載事項は削除

## II 担い手への農地の利用集積・集約化

### 1 現状及び課題

現 状 (平成29年4月現在)	管内の農地面積	これまでの集積面積	集積率
	9,330 ha	5,317 ha	56.99%
課 題	担い手への農地の集積は順調に進んでいるが、中山間地や未整備農地の借受者が減少してきている。		

※1 管内の農地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入

※2 これまでの集積面積は、把握時点において担い手(認定農業者及び農業委員会法施行規則第10条で定める者)へ利用集積されている農地の総面積を記入

### 2 平成29年度の目標及び活動計画

目 標	集積面積 5,556 ha (うち新規集積面積 239 ha)
	目標設定の考え方:平成29年度策定、五所川原市農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想での目標年次である平成37年までに集積率が80%の集積を図る。[(9,330ha×0.8-5,317ha)÷9年]
活動計画	円滑な権利移動ができるよう、広報紙「農業委員会だより」を活用し、農地の出し手情報を掲載する他、農業委員の日常活動によるあっせんや農地中間管理事業を推進。

※1 集積面積は、当該年度末時点で担い手へ利用集積されている農地の総面積を記入

※2 新規集積面積は、集積面積のうち1年間に新規集積面積(非担い手が自作又は利用していた農地のうち、担い手に対して権利の設定・移転させた農地)をどの程度増加させるかを記入

※3 活動計画は、目標の達成のために何月に行うのか等詳細かつ具体的に記入

## III 新たな農業経営を営もうとする者の参入促進

### 1 現状及び課題

新規参入の状況	26年度新規参入者数	27年度新規参入者数	28年度新規参入者数
	8 経営体	7 経営体	6 経営体
	26年度新規参入者が取得した農地面積	27年度新規参入者が取得した農地面積	28年度新規参入者が取得した農地面積
	6.2 ha	7.8 ha	4.3 ha
課 題	新規就農希望者の農地確保。		

※1 新規参入者数は、過去3年の農地の権利移動を伴う各年度ごとの新たな新規参入数を記入し、法人雇用や親元就農は含まない(欄の最も右が昨年度)

※2 新規参入者が取得した農地面積は、上で記入した経営体が取得した農地面積の合計を記入

### 2 平成29年度の目標及び活動計画

参入目標数	10 経営体	参入目標面積	8.7 ha
活動計画	農業委員の通常活動での新規就農者の掘り起こしや農地中間管理機構、市長部局との連携により情報を共有し農地のあっせん等を実施。		

※1 目標は、1年間に新たに参入させる新規参入者数及び参入目標面積を記入

※2 活動計画は、目標の達成のために何月に行うのか等詳細かつ具体的に記入

#### IV 遊休農地に関する措置

##### 1 現状及び課題

現 状 (平成29年4月現在)	管内の農地面積(A)	遊休農地面積(B)	割合(B/A×100)
	9,357 ha	29.1 ha	0.31%
課 題	遊休農地のほとんどが長年にわたり放置されてきた山間部の田畑地であり、雑木が繁茂のため耕作可能な状態に復元するには多額の費用が必要であり、また、作業効率条件も悪く、担い手農家等への土地の集積が進みにくい状況にある。		

- ※1 管内の農地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積と農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した同法第32条第1項第1号の遊休農地の合計面積を記入  
 ※2 遊休農地面積は、農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した第32条第1項第1号又は第2号のいずれかに該当する農地の総面積を記入

##### 2 平成29年度の目標及び活動計画

目 標	遊休農地の解消面積 3.7 ha			
	目標設定の考え方:過去3ヵ年の解消平均値。			
活 動 計 画	農地の利用状況調査	調査員数(実数)	調査実施時期	調査結果取りまとめ時期
		45 人	4月～9月	10月
	調査方法	農業委員の通常の活動、8月から9月にかけて農業委員、農業委員会職員農林水産課職員で管内全域の農地利用状況調査を行う。		
	農地の利用意向調査	実施時期	調査結果取りまとめ時期	
		10月～12月	1月～3月	
その他				

- ※1 遊休農地の解消面積は、当該年度末時点の遊休農地の解消面積を記入  
 ※2 遊休農地の解消面積は、市町村等が策定した目標を農業委員会が共有している場合には、当該市町村等の目標を記入しても差し支えない  
 ※3 「その他」欄には、利用状況調査・意向調査以外の遊休農地解消のための活動を記入

#### V 違反転用への適正な対応

##### 1 現状及び課題

現 状 (平成29年4月現在)	管内の農地面積(A)	違反転用面積(B)
	9,330 ha	0 ha
課 題		

- ※ 管内の農地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入  
 ※ 違反転用面積は、把握時点において管内で農地法第4条第1項又は第5条第1項の規定等に違反して転用されている農地の総面積を記入

##### 2 平成29年度の活動計画

活動計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>違反転用の是正指導:違反転用者に対する是正の意向、是正までのスケジュール等の聞き取りを実施する。</li> <li>違反転用の発生防止に向けた取組み:「農業委員会だより」(年6回発行)による制度の周知や8月から9月に管内全域の農地パトロールの実施。</li> </ul>
------	--

- ※ 活動計画は、違反転用の解消や早期発見・未然防止のために何月に何を行うのか等詳細かつ具体的に記入